

「ロンサーフ(TFTD)使用症例の後ろ向き観察(コホート)研究」 に関するお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 10 月 23 日 ～ 平成 31 年 6 月 30 日

〔研究課題〕

ロンサーフ(TFTD)使用症例の後ろ向き観察(コホート)研究

〔研究目的〕

ロンサーフの中止理由を調査し、どのような症例がロンサーフにより長期生存を得ることができているのかを明らかにすることです。

〔研究意義〕

これまでは、ロンサーフ治療の中止や変更のタイミングを決定することが難しく、さまざまな臨床的判断で治療中止が行われてきました。本研究では、ロンサーフの効果的な使用方法を検討し、今後の治療に活かします。

〔対象・研究方法〕

2014年7月1日より2016年9月30日までに切除不能大腸癌に対してロンサーフ(TFTD)単独療法が開始された患者さんを対象として、病状、服薬状況、検査結果、予後などを調査します。

〔研究機関名〕

この研究は他施設共同研究です。

【研究代表者】

九州大学大学院 消化器・総合外科 診療准教授 沖 英次
静岡県立静岡がんセンター 消化器内科 医長 山崎 健太郎

【帝京大学ちば総合医療センター】

外科 教授 幸田 圭史（当院実施責任者）
講師 小杉 千弘
助教 成島 一夫

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は秘匿化し厳重に管理します。研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：外科 教授 幸田 圭史

研究分担者：外科 講師 小杉千弘、助教 成島一夫

住所：千葉県市原市姉崎 3426-3

TEL：0436-62-1211 （代表） 〔内線 2750〕